

## 学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 多治見北高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和6年9月5日(木) 14:00～16:00
- 3 開催場所 岐阜県立多治見北高等学校 小会議室
- 4 参加者

会長	宮嶋 浩	バロー文化ホール館長
委員	長壁 和恵	会社員 元PTA役員
	加藤 恵子	消費生活協同組合理事 元PTA役員
	田口 尚之	愛知教育大学教授
	水野 知久	東濃子ども相談センター所長
	森 教恵	PTA副会長
学校側	白石 秀史	校長
	山下 サツキ	事務部長
	西田 智子	教頭
	稲垣 真太郎	教務主任
	加藤 大	生徒指導主事
	上田 泰彦	進路指導主事

### 5 会議の概要(協議事項)

- (1) 校長挨拶
- (2) 学校祭見学
- (3) 学校評価アンケートについて
- (4) スクールミッションについて
- (5) 意見交換及び協議

意見1：このスクールミッションはどこで活用されるのか。

⇒本校の役割や方向性を保護者、地域住民等に示すとともに、教職員間においても、本校の教育活動の基礎をなす理念として共有されることになる。

意見2：スクールミッションは一度決めたら変えられないものなのか。

⇒本校の目指すべき学校像を示すものなので、頻繁に変えるべきものではない。

意見3：高校入試で、このスクールミッションやアドミッションポリシーをもとに、推薦入試が予定されているのか。

⇒現時点ではそのような予定はない。

意見4：スクールミッションに描かれている姿が知っている卒業生の姿ともよく重なる。

- 意見5：「自主・自律・自学」の校訓は年配の卒業生でも知っており本校を象徴していると言える。ぜひスクールミッションに入れてほしい。
- 意見6：学校祭については、体育館を使えないデメリットがあったが、いろいろな場所を工夫していた。生徒の考えを教職員が後押ししていることがよく伝わった。（複数）
- 意見7：中北舎間にステージを設置したり、PTA主催のバザーの会場が部室棟前になったりしたことで、各会場が近くなり、生徒の居場所が限定され、にぎやかな雰囲気を感じた。（複数）
- 意見8：学校評価アンケートの中で、ボランティアの項目があるが、地域を支えるためにも若い人たちとの連携の機会としてボランティア活動をすすめていけるとよい。
- 意見9：学校の課題や小テストが学力の向上に役立っているという意見が多いが、今の大学は暗記テクニックに長けた学生ではなく、自分で考える力を持った学生を求めている。国公立大学の受験を考えたとき、前期入試の対応として小テストなどの従前の指導の継続も必要だが、将来的には大学入試も変化していく。どのように対応していくのか。
- ⇒入試の形が大きく変わっていることは認識しており、校内だけで対応しているとどうしても従前の形になる。外部で行われる各種の研修を教職員に紹介すると積極的に参加する者が多い。そうした研修の成果を他の教職員も共有し、大学入試の変化に対応できる集団としての力を伸ばしている。

#### (6) 会長挨拶

### 6 会議のまとめ

第2回学校運営協議会では、スクールミッションについて多くの意見を得ることができた。